

平成30年8月5日
今週のベストショット



雁レク7 和白新町パイレーツ 対 新町ウインズ戦
豪快なフォームで好リリーフの新町ウインズ藤田投手。

写真：ブルーマーリンズ 阿部 光廣

青松園B スーパーソルト！

塩浜ジャガーズ (2勝6敗) 0 1 4 0 0 0 5 久保田●-末永

ソルトベイスターズ (3勝5敗) 3 0 4 0 1 4 x 1 2 x 鶴野○-酒井

HR：井浦、酒井、中村（健）（ソルト）久保田（塩浜ジ） 2BH：内田（塩浜ジ）

2勝5敗同士、ここから波に乗りたい両チーム。一回表を無失点でスタートしたソルトベイスターズは、その裏塩浜ジャガーズ先発久保田投手の制球が定まらず、5四球に六番大門選手のタイムリーで3点を先制。二回表ジャガーズは久保田投手自ら反撃のソロHR。更に三回表5本の単打で4点を挙げ逆転。しかし5点目を狙った久保田投手がホームタッチアウトとなる。その裏、走塁の息も整わないままマウンドに上がった久保田投手からソルト四番井浦選手がソロHRを放つと、2人のランナーを置いて七番酒井選手が高めのボール球を大根切り！ライナーで柵を超える逆転3ランHR。反撃したいジャガーズは五回表、無死満塁のチャンス。ここでサードランナー内田選手が相手WPでホームを突くも中途半端なスタートでタッチアウト。六番末永選手の強い打球はショートライナー。これを野口遊撃手が飛び出たランナーにタッチしてWプレーでピンチを凌ぐ。その裏ソルト酒井選手の犠飛で1点追加。更に最終六回裏、四番井浦選手のタイムリーと五番中村（健）選手の3ランで4点追加。序盤二転三転する攻防だったが、ベストメンバーがそろったソルトは、新人が大活躍し、中堅が要所で仕事をして、ベテランが野次る（？）理想的な戦いぶり。両チーム計22安打の乱打戦を制したソルトベイスターズは、今までとは別チーム、スーパーソルトに生まれ変わった。（記事・写真：レッドサンデーズ 八島 久徳）



ソルトベイスターズ鶴野投手。



塩浜ジャガーズ久保田投手。



一回裏、ソルト六番大門選手のタイムリー。



二回表、ジャガーズ五番久保田選手がクロスプレーながらHR。



三回表、久保田選手がホームを突くもタッチアウト。



三回裏、ソルト四番井浦選手が2戦連発のHR。



三回裏、弾丸ライナー3ランの酒井選手。



攻撃を指示するソルト真弓三塁コーチ。



六回裏、ソルト五番中村（健）選手ダメ押し3ランHR。

奈多グラウンド 三友クラブ今季初勝利！！

三友クラブ (1勝7敗) 002100 3 矢野○ー谷崎
奈多サンデーズ (3勝4敗1分) 000200 2 砂場●、江口ー野々下
HR: 尾澤 (三友ク) 3BH: 江口 (奈多サ) 2BH: 谷崎、坂本 (三友ク)
盗塁: 平田 (三友ク)、長濱 (奈多サ)

うだるような暑さの中で始まった試合は、二回まで両投手が共に好投し無得点に終わる。試合が動いたのは三回表、二死ランナー無しから三友クラブ尾澤選手が左中間へソロHRを放ち先制する。続く松尾選手も四球とWPで二塁まで進むと相手エラーの間にランナーが生還し三友クラブが2点を先制する。その裏なんとか追付きたい奈多サンデーズだったが、矢野投手の前に三者凡退に打ち取られてしまう。良い流れのまま攻撃に入った三友クラブは、この回から代わったサンデーズ江口投手から先頭の谷崎選手が右中間に二塁打を放ち、その後ランナーを三塁に進めると、坂本選手が右中間にタイムリーヒットを放ち追加点を挙げる。その裏サンデーズが意地を見せる。先頭の砂場選手が内野安打で出塁すると、江口選手が右中間へタイムリー三塁打を放ち1点を返す。その後PBで三塁ランナーが生還し1点差まで追上げる。このまま一気に行きたい所だったが、矢野投手の前に後続が打ち取られ攻撃が終わってしまう。その後は両チーム共にランナーを出すものの無得点に終わりゲームセット。なんとか三友クラブが逃げ切り今季初勝利を収めた。(記事・写真: 奈多フェニックス 能丸 英和)



うだるような暑さの中、試合開始。



奈多サンデーズ先発の砂場投手。



四回からリリーフ登板のサンデーズ江口投手。



三友クラブ先発の矢野投手。



三回表、先制ホームランを打った尾澤選手。



四回表、タイムリーヒットを打った坂本選手。

雁レク7 息詰まる投手戦を制したのは・・・・

和白新町パイレーツ（3勝3敗2分）200000 2 沖田●ー小林
 新町ウインズ （5勝3敗）20002X 4 早田、藤田○ー今林

HR：吉浦（新町ウ） 2BH：藤田（新町ウ）

素晴らしい晴天、蝉の大合唱がグラウンドに響く中、試合開始。一回表パイレーツは、制球が定まらない新町ウインズ先発の早田投手の立ち上がりを攻め、一死から二番八坂選手四球、三番牟田選手の内野安打、3連続四球で早くも2点を先制。ここでベンチが動き、早田投手から藤田投手へスイッチすると、藤田投手が後続を連続三振に抑えこのピンチを切り抜ける。その裏、2点を追うウインズは、パイレーツ先発沖田投手から一番吉浦選手がいきなりのレフトオーバー先頭打者HR。更に、三番藤田選手の二塁打、四番桐島選手のタイムリーで、あっさり同点に追いつく。二回表パイレーツは、一番小林選手がライトエラーで出塁、二番八坂選手がヒットで続き得点のチャンス。しかし、藤田投手の力強い速球の前に後続が三振に倒れ、惜しくも追加点ならず。二回、三回は両投手の素晴らしいピッチングでゲームは進み四回裏、ウインズ六番松岡選手が出塁。その後、七番宮原選手が死球、更にWPで一死二三塁の大ピンチも、パイレーツ沖田投手が後続を打ち取り何とか0点に抑える。ゲームが動いたのは五回裏。ウインズは、九番久保田選手が四球で出塁すると、先頭打者HRの一番吉浦選手の左前にエラーで遂に均衡を破る。その後三番藤田選手のサードフライ捕球後ボールデッドによりさらに1点を追加。こうなると、ウインズ藤田投手には十分すぎる得点。六回表も3人でキッチリ抑え、終わってみれば、圧巻の”無四球11奪三振”にて見事勝利投手となった。早朝7時プレーボールとは言え、気温28度のグラウンドにて両チーム共に、素晴らしい熱戦であった。（記事：ブルーマーリンズ 中村 大輔、写真：阿部 光廣、井上 広大）



晴天の下、試合開始挨拶。



新町ウインズ先発の早田投手。



一回表、ナイス選球で四球 パイレーツ白岩選手兼監督。



一回裏、先頭打者ホームラン！ウインズ吉浦選手。



一回裏、同点タイムリー ウインズ四番桐島選手。



二回表、右矢で二塁までナイスラン！パイレーツ小林選手。



二回表、ヒットでチャンスを広げるパイレーツ八坂選手。



三回表、得点のチャンス 惜しくも三振、パイレーツ中島選手。



リリーフで無四球 1 1 奪三振のウインズ藤田投手。



本日のヒーローウインズ吉浦選手！藤田投手！

青松園A 圧巻の奪三振ショーで奈多クラブ勝利！

雁の巣ライナーズ（4勝3敗1分）0000000 0 今林（貢）●—明瀬（航）
奈多クラブ（6勝1敗）050012X 8 今林（瑠）○—安河内

HR：今林（祐）（奈多ク）2BH：今林（賢）（奈多ク）

雁の巣ライナーズは初回、奈多クラブ今林(瑠)投手から一番明瀬(航)選手が追い込まれながらも粘りを見せ、結果いきなり10球投げさせて四球を選び流れを作ると、送りバントで得点圏にランナーを進め先制のチャンスを作る。しかし、ピンチとなり1つギアを上げた今林(瑠)投手が、三番、四番を連続三振にとり得点を許さない。対してライナーズ先発今林(貢)投手の立ち上がりも、内野安打で出塁を許し、三塁にランナーを背負うも後続をきっちり打ち取り流れを渡さない。しかし、続く二回に奈多クラブが今林(貢)投手を一気に責める。死球と四球でチャンスを作ると、九番吉田選手の三遊間への打球が相手のミスを誘い、悪送球でランナーが生還して先制する。ここから、一気に3本のタイムリーが飛び出し、この回一挙5点を挙げる圧巻の攻撃を見せる。この日の今林(瑠)投手にとっては十分すぎる援護だった。反撃にしたいライナーズに、チャンスはおろかヒットすら許さない完璧なピッチング。六回までノーヒットに抑え、ノーヒットノーランの期待が高まる。最終回、味方のミスで2人のランナーを出すも以前ノーヒットで二死まで打ち取り、あと1人で大記録達成。しかし、ライナーズ今林(颯)選手に投じた2球目、ライズボールが甘く入り、無情にも打球は一二塁間を抜け大記録達成とはならなかった。しかしここで気を引き締め直し、最後の打者を三振で締めて、圧巻の毎回の13奪三振、被安打1の力投。投打ががっちり噛み合った奈多クラブが勝利！（写真・記事：三苦ホーネッツ 井手 涼次朗）



雁の巣ライナーズ今林（貢）投手。



猛打賞の奈多クラブ馬場口選手。



強烈な打球を放つライナーズ国崎選手。



バントで揺さぶりをかけるライナーズ池内選手。



六回裏、HRを放った奈多クラブ今林（祐）選手。



華麗な守備をみせたライナーズ明瀬（旭）選手。



圧巻の投球を披露した奈多クラブ今林（瑠）投手。



土壇場でチーム初ヒットを放ったライナーズ今林（颯）選手。



わずか一安打に抑えた奈多クラブバッテリー。

第15週編集後記

WSLの皆さん、コンニチハ！

第15週、8月5日は4試合が行われました。

青松園Bの塩浜ジャガーズ対ソルトベイスターズ戦は、ジャガーズ久保田投手の制球が定まらないうちに先制したソルトだが、久保田投手のHRからジャガーズペースへ。しかし打力に勝るソルトが4点取られても4点取り返すと、五回表の無死満塁のピンチを無失点で切り抜けると点差を広げ5-1 2Xで勝利。人員不足に陥っていたソルト。この試合は戦力十分で今季3勝目を挙げた。

奈多グラウンドの三友クラブ対奈多サンデーズ戦は、いまだ勝利の無い三友クラブだが、二番尾澤選手のHRなどで3点を先制すると、三友クラブ矢野投手がサンデーズ打線を2安打2失点に抑え3-2で三友クラブの勝利。

雁レク7の和白新町パイレーツ対新町ウインズ戦は、2-2の同点で迎えた五回裏、ウインズが四球からHRを放っている一番吉浦選手の左前安打にエラーが絡み勝ち越し。投げては一回からリリーフした藤田投手の剛球が冴え渡り、2-4でウインズが連敗を3で止めた。

青松園Aの雁の巣ライナース対奈多クラブ戦は、エース不在の雁の巣ライナースを昨年優勝の奈多クラブ打線が圧倒。二回裏、相手今林貢投手の四死球とエラーに付け込み5点。奈多クラブ今林瑠生投手は最終回二死から安打を打たれるも堂々の零封。0-8で奈多クラブの勝利。

お盆休みを経て、後半戦に突入するWSLはまだまだ熱い戦いが繰り広げられる。